

平成21年度総会

日時:平成21年5月23日(土)

会場:東京国際フォーラム 展示ホール(2)



社団法人

日本超音波医学会

〒101-0063

東京都千代田区神田淡路町2-23-1

お茶の水センタービル6F

U R L: <http://www.jsum.or.jp>

T E L: 03-6380-3711

F A X: 03-5297-3744

E-Mail: office@jsum.or.jp

平成21年度総会次第

日時：平成21年5月23日(土) 12時10分～13時10分
会場：東京国際フォーラム 地下2F 展示ホール(2)

開会		理事長
議長選出		理事長
理事長挨拶		理事長
議題		
1. 平成20年度事業報告	(資料1)	総務担当理事
2. 平成20年度収支決算報告	(資料2)	財務担当理事
3. 平成20年度収支決算監査報告	(資料3)	監 事
4. 平成21年度事業計画(案)	(資料4)	総務担当理事
5. 平成21年度収支予算(案)	(資料5)	財務担当理事
6. 会員の除名	(資料6)	理事長
7. 功労会員推薦	(資料7)	理事長
8. その他		
議事録署名人の選出		議 長
閉会		議 長
功労会員の表彰		理事長
第11回特別学会賞表彰		理事長
論文賞(第23回菊池賞・第4回伊東賞)表彰		理事長
第9回技術賞表彰		理事長

社団法人日本超音波医学会 平成20・21年度役員及び代議員

(自 平成20年5月25日 至 平成22年度通常総会開催日)

理事長	岡井 崇						
副理事長	遠藤 信行	田中 幸子					
理事	秋山いわき	跡見 裕	金井 浩	貴田岡正史	工藤正俊	椎名 毅	千田 彰一
	竹内和男	竹中 克	谷口 信行	鄭 忠和	蜂屋 弘之	別府慎太郎	増山 理
	松崎 益徳	森安 史典	山下 裕一				
監事	千原 國宏	羽田 勝征					

代議員	赤阪 隆史	赤松 信雄	秋本 伸	飯島 尋子	石川 洋子	石蔵 文信	石田 秀明
	石塚 尚子	石光 敏行	伊集院裕康	市塚 清健	市橋 光	伊藤 彰浩	伊藤 貴司
	伊藤 隆英	位藤 俊一	伊藤 秀一	伊藤 浩	伊藤 嘉信	乾 和郎	井上 浩
	伊吹 恵里	入江 喬介	植木 敏晴	植野 映	上松 正朗	内田 政史	宇都宮俊徳
	梅村 晋一郎	浦岡 佳子	遠藤登喜子	大木 崇	大崎 往夫	大矢 晃久	大柳 光正
	岡 博子	小笠原康夫	尾形 仁子	小川 真広	小澤 優樹	尾辻 豊	小野 尚文
	小野塚久夫	尾本きよか	金政 健	金光敬一郎	亀岡 信悟	唐澤 英偉	川合 宏哉
	川内 章裕	神田 良一	木佐貫 彰	木田 光広	木原 康樹	楠 信也	工藤 信樹
	久保 光彦	熊田 卓	黒 肱 敏彦	黒松 亮子	小井戸一光	神崎 修一	上妻 志郎
	國分 茂博	小林さゆき	紺野 啓	斎藤 明子	酒井 輝文	佐々木 明	佐々木勝己
	佐藤 昌司	里見 元義	椎名秀一朗	汐崎 陽	重田浩一朗	篠村 隆一	地挽 隆夫
	島本佳寿広	下村 壯治	庄野 弘幸	鈴木 真事	住野 泰清	須山 正文	諏訪 道博
	瀬本 喜啓	高沢 謙二	高田 悦雄	高橋正一郎	高橋 正明	高本 眞一	室田 明
	田中 伸明	棚橋 善克	田内 潤	玉田 喜一	千葉 裕	千葉 喜英	辻本 文雄
	津田 雅之	鄭 浩柄	東野英利子	戸原 恵二	中泉 明彦	中尾 伸二	長川 達哉
	中島美智子	仲田 文造	中谷 敏	中村 一彦	中村 昌平	中村 武史	名取 道也
	仁木 清美	西垣 洋一	西川かおり	二宮 朋之	沼田 功	野間 充	橋本 千樹
	秦 幸吉	晶 二郎	秦 利之	馬場 一憲	馬場 達朗	濱 壽伸	原 量宏
	原田 烈光	原田 昌彦	万代 恭嗣	東泉 隆夫	平井都始子	平田健一郎	平野 豊
	平間 信	廣岡 芳樹	福田 信夫	藤井 康友	藤田 直孝	藤本 眞一	堀口 祐爾
	本田 伸行	前田 英明	幕内 雅敏	真口 宏介	舛形 尚	増崎 英明	増澤 信義
	松田 康雄	松谷 正一	松元 淳	松本 廣嗣	丸山 紀史	三神 大世	水重 克文
	三竹 毅	皆越 真一	嶺 喜隆	三原 修一	宮本 幸夫	三和 祐一	村田 和也
	望月 剛聡	森 秀明	八木 晋一	安田 秀光	安田 是和	山雄 健次	山越 芳樹
	山田 聡	山田 博康	山近 史郎	山根 隆明	山本 一博	山本 敏樹	湯田 聡
	吉田 清	吉田 寛	林 英宰	渡辺 五朗			

平成20・21年度日本超音波医学会 各種委員会等名簿

企画委員会

(13名)
委員長 田中幸子
副委員長 別府信太
委員 秋山いづみ 榑橋善一 市塚清健 遠藤登喜子 小川真広 尾辻 豊 金田 智 國分茂博 千田彰一
事務 木下サバ

機器及び安全に関する委員会

(17名)
委員長 秋山いづみ
副委員長 上石内土
委員 山妻志郎 蜂屋弘之 遠藤信行 桑田知之 工藤信樹 近藤 隆 高田悦雄 立花克郎
幹事 土屋健伸 梅村晋一 藤井康友 山口 匡 山本一博

編集委員会

(10名)
委員長 谷口信行
副委員長 石井明三
委員 伊藤吉子 金井浩郎 上妻志郎 工藤信樹 鈴木真事 住野泰清 東野英利子 蜂屋弘之
事務 平井都始 藤井康友 松谷正一 水重克文 山本一博

用語・診断基準委員会

(22名)
委員長 貴田正史
副委員長 上妻志郎
委員 森田秀安 竹中 克 馬中 隆弘 唐澤英偉 木原康樹 熊田 卓 紺野 啓 佐藤昌司
幹事 菅村 秋山 山口 隆信 西上和宏 廣岡芳樹 熊田 卓 紺野 啓 佐藤昌司
委員 貴田正史 岡正史 竹中 克 馬中 隆弘 唐澤英偉 木原康樹 熊田 卓 紺野 啓 佐藤昌司
委員 森田秀安 菅村 秋山 山口 隆信 西上和宏 廣岡芳樹 熊田 卓 紺野 啓 佐藤昌司

保険委員会

(12名)
委員長 竹内和男
副委員長 渡辺清
委員 市松村 川内章裕 紺野 啓 佐々木勝己 高沢謙二 棚橋善克 辻本文雄 松谷正一
委員 竹内和男 渡辺清 市松村 川内章裕 紺野 啓 佐々木勝己 高沢謙二 棚橋善克 辻本文雄 松谷正一

国際交流委員会

(18名)
委員長 工藤正俊
副委員長 増上志郎
委員 大住千 岡沼博子 小川真広 金井浩郎 木原康樹 熊田 卓 國分茂博 椎名 毅
事務 木下サバ 谷口信行 小川真広 金井浩郎 木原康樹 熊田 卓 國分茂博 椎名 毅

教育委員会

(16名)
委員長 森安史典
副委員長 増山二隆
委員 秋山 飯島尋子 石蔵文信 石田秀明 市橋光夫 下村一之 千葉 裕 東野英利子
委員 森安史典 増山二隆 秋山 飯島尋子 石蔵文信 石田秀明 市橋光夫 下村一之 千葉 裕 東野英利子

超音波専門医制度委員会

(24名)
委員長 千田彰一
副委員長 竹内信一
委員 蜂屋弘之 山本一博 大菅沼 沖原宏治 尾本きよか 貴田岡正史 紺野 啓 坂田麻理子 佐藤昌司
委員 千田彰一 竹内信一 蜂屋弘之 山本一博 大菅沼 沖原宏治 尾本きよか 貴田岡正史 紺野 啓 坂田麻理子 佐藤昌司

顕彰委員会

(14名)
委員長 松崎益徳
副委員長 秋山いづみ
委員 谷口信行 遠藤登喜子 遠藤信行 上妻志郎 齋藤明子 千田彰一 竹中 克
委員 松崎益徳 秋山いづみ 谷口信行 遠藤登喜子 遠藤信行 上妻志郎 齋藤明子 千田彰一 竹中 克

超音波検査士制度委員会

(20名)
委員長 増山二隆
副委員長 中位竹森
委員 山谷俊一 万代恭嗣 岡田博子 尾本きよか 小林浩一 佐伯文彦 坂田麻理子 関口隆三
委員 増山二隆 中位竹森 山谷俊一 万代恭嗣 岡田博子 尾本きよか 小林浩一 佐伯文彦 坂田麻理子 関口隆三

超音波工学フェロー認定審査委員会^(11名)

委員長 蜂屋弘之
副委員長 秋山いわき
委員 伊藤貴延 尾本きよか 金井 浩 工藤信樹 紺野 啓 西條芳文 佐々木明 嶺 喜隆

研究開発促進委員会^(11名)

委員長 山下裕一
副委員長 梅村晋一郎
委員 秋本晋一 植野 映 木佐貴彰 小林浩一 齋藤明子 高田悦雄 舛形 尚 三神大世

倫理委員会^(6名)

委員長 跡見 裕
副委員長 谷口 信
委員 秋本 伸 遠藤信行 尾辻 豊 森 秀明

学術集会委員会^(20名)

委員長 遠藤信子
副委員長 田中幸子
委員 秋山いわき 秋山隆弘 尾辻 豊 工藤正俊 上妻志郎 佐藤昌司 椎名 毅 竹中 克
委員 谷口田秀 千葉 裕 東野英利子 晶 二郎 蜂屋弘之 万代恭嗣 廣岡芳樹 別府慎太郎
幹事 安土屋 健伸

広報委員会^(7名)

委員長 金井 浩
副委員長 竹中 克
委員・幹事 長谷川英之
委員 赤石 誠 戸出浩之 晶 二郎 山口 匡

新公益法人への移行検討委員会^(6名)

委員長 岡井 崇
委員 跡見 裕 千田彰一 谷口信行 千原國宏 万代恭嗣

平成22・23年度選挙管理委員会^(6名)

委員長 蜂屋弘之
委員 尾本きよか 竹中 克 谷口信行 馬場一憲 増澤信義

総務担当理事^(1名)

谷口 信行

財務担当理事^(1名)

椎名 毅

会員資格担当理事^(2名)

(主) 竹中 克
秋山いわき

地方会担当理事^(3名)

(主) 山下 裕一
椎名 毅 竹内和男

規約担当理事^(2名)

(主) 竹中 克
蜂屋弘之

日本医学会担当理事^(4名)

(評議員) 田中 幸子
(連絡委員) 谷口 信行
(用語委員) 貴田岡正史
(用語代替員) 上妻志郎

(資料1)

平成20年度事業報告

(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)

平成20年度における本会の事業報告は次のとおりである。

I. 会員現況

(平成21年3月31日現在)

会員種別	平成20年3月31日 現在数	平成21年3月31日 現在数	増 減	備 考
名誉会員	25	25	0	
功勞会員	35	41	+ 6	
正 会 員	7,929	7,895	- 34	
準 会 員	5,481	5,650	+ 169	
学生会員	2	1	- 1	
賛助会員	20(67口)	18(63口)	- 2	
計	13,492	13,630	+ 138	

名誉会員(*物故者)

*青柳健次 *加藤金子 *金正太郎 *菊池喜充 *田中憲二 *吉田常雄 *吉岡勝哉
*永山徳郎 *奥山太太郎 *寒吉純一 *古賀安藤 *海老名敏明 *板原克基
*岡益尚 *伊藤裕一 *有賀内東 *槐守久 *三和賀井敏夫 ジョン・J・ワイルド 仁村泰治
林尾飯中吉 周良一 三浩淑 70イト・ダ・ン 有賀内東 槐守久 三和賀井敏夫 ジョン・J・ワイルド 仁村泰治
飯中吉 周良一 三浩淑 伊藤裕一 有賀内東 槐守久 三和賀井敏夫 ジョン・J・ワイルド 仁村泰治
中吉 周良一 三浩淑 伊藤裕一 有賀内東 槐守久 三和賀井敏夫 ジョン・J・ワイルド 仁村泰治
川純 周良一 三浩淑 伊藤裕一 有賀内東 槐守久 三和賀井敏夫 ジョン・J・ワイルド 仁村泰治

(以上43名)

II. 学会誌

1. 和文誌「超音波医学」第35巻Supplement号(学術集会抄録号)、第35巻3号から6号と第36巻1号から2号までの7冊、及び英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」Vol. 35 No. 2からNo. 4とVol. 36 No. 1までの4冊、計11冊を発行した。
2. 過去の学会誌(Vol. 14 No. 1(1987)～Vol. 18 No. 9(1991))のPDF化を行った。

		和 文 誌							英 文 誌			
巻 号		35-Suppl	35- 3	35- 4	35- 5	35- 6	36- 1	36- 2	35- 2	35- 3	35- 4	36- 1
本文ページ数		718	113	102	101	87	142	129	48	68	70	50
主 な 論 文	原著 (Original Article)	—	14 (1)	20 (2)	16 (2)	18 (2)	6 (1)	14 (2)	24 (4)	22 (3)	22 (3)	24 (3)
	症例報告 (Case Report)	—	6 (1)	14 (2)	8 (1)	8 (1)	10 (2)	6 (1)	0 (0)	20 (4)	20 (4)	18 (3)
	翻訳原著 (Translation of Original Article)	—	0 (0)	8 (1)	0 (0)	6 (1)	10 (1)	0 (0)	—	—	—	—
	翻訳症例報告 (Translation of Case Report)	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—	—
	総説 (Review Article)	—	20 (2)	0 (0)	0 (0)	58 (5)	30 (3)	44 (4)	10 (1)	12 (1)	16 (2)	0 (0)
	特集 (State of the Art)	—	0 (0)	0 (0)	34 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	技術報告 (Technical Note)	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	速報 (Rapid Communication)	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	教育 (Educational Note)	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	Letters to the Editor	—	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
ベ	今月の超音波像 (Ultrasound image of the Month)	—	8 (2)	8 (2)	10 (3)	0 (0)	3 (1)	0 (0)	6 (2)	8 (3)	6 (2)	4 (1)
	Editorial	—	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2
J	学術集会プログラム	81	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	学術集会抄録	592	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
数	会告	—	7	9	7	6	12	11	—	—	—	—
	研究会抄録	—	12	0	0	0	0	0	—	—	—	—
	地方会抄録	—	0	20	0	0	46	27	—	—	—	—
	学会ニュース	—	3	3	3	3	3	3	—	—	—	—
	その他	45	41	18	21	13	20	21	6	2	4	2

() 内は掲載論文等の数

III. 特別学会賞

第10回特別学会賞は、次の1名に授与された。
渡邊 決(京都中央看護保健専門学校校長)

IV. 松尾賞

第7回松尾賞は、次の2名に授与された。
上妻 志郎(東京大学医学部産婦人科)

金井 浩(東北大学大学院工学研究科電子工学専攻)

V. 技術賞

第8回技術賞は、次の3件に授与された。

超音波診断装置の安全性に関する技術：探触子表面温度測定技術

内藤 みわ、内山 進、岸本 真治、小笠原正文、宮沢 晃、木下博之、柴田 優、大谷 修司、
清水 豊、矢上 弘之、小川 信一、倉島 寛行、小澤啓一郎、好富 英徳
(電子情報技術産業協会(JEITA)超音波専門委員会)

Raw Data Managementに基づいたHybrid Contrast Imaging

加藤 生、小笠原正文、地挽 隆夫、橋本 浩、見山 広二、島崎 正
(GE横河メディカルシステム株式会社超音波事業部)

マイクロフローイメージング(Micro Flow Imaging)

神山 直久、吉田 哲也、中屋 重光
(東芝メディカルシステムズ株式会社超音波開発部)

VI. 論文賞

第22回菊池賞・第3回伊東賞は、次の3編に授与された。

菊池賞

三次元心筋局所収縮率分布イメージング法の開発34-1

椎名 毅¹、新田 尚隆²、山川 誠³、近藤 健悟⁴、千田 彰一⁵、舩形 尚⁶

(¹筑波大学大学院システム情報工学研究科、²独立法人産業技術総合研究所人間福祉医工学研究部門医用計測グループ、

³香川大学医学部附属病院総合診療部、⁴坂出市立病院循環器内科)

伊東賞

Evaluation of malignancy of hepatocellular carcinoma using the ultrasonic B-mode method: clinical

significance of extracapsular invasion of hepatocellular carcinoma using ultrasonography.....E34-2

Hiroshi NAKAGAWARA¹, Masahiro OGAWA¹, Naoki MATSUMOTO¹, Yoshikazu HIRO¹, Toshiki YAMAMOTO¹, Yoshiki ONO¹,

Yasuyuki ARAKAWA¹, Tadatoshiki TAKAYAMA², Noriko KINUKAWA³, Hideaki ISHIDA⁴

(¹Division of Gastroenterology and Hepatology, Surugadai Nihon University Hospital, Tokyo, Japan,

²Division of Digestive Surgery, Nihon University Itabashi Hospital, Tokyo, Japan, ³Department of

Pathology, Surugadai Nihon University Hospital, Tokyo, Japan, ⁴Center of Diagnostic Ultrasound, Akita

Red Cross Hospital, Akita, Japan)

斑状の心筋虚血領域では冠血流予備能が低下する：コントラストエコー法を用いた実験的検討34-6

浦西 歩美、増田 佳純、五十嵐 絵里奈、澤田 智美、浅沼 俊彦、石蔵 文信、別府 慎太郎

(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻機能診断科学講座)

VII. 奨励賞

第9回奨励賞は、次の5編に授与された。

循環器領域

HDLコレステロールやLDLコレステロールは冠動脈内プラークの体積や組成を反映する

小島 淳(熊本大学大学院)

不安定狭心症患者における経胸壁ドプラー心エコー図による左冠動脈近位部color aliasing検出の意義

岡山 英樹(愛媛大学大学院)

消化器領域

高エコー帯を治療効果判定に用いた肝細胞癌に対するラジオ波熱焼灼術

廣岡 昌史(愛媛大学大学院)

脾臓性病変の診断における3D画像の有用性

福田 順子(大阪府立成人病センター)

TACE治療予定の肝細胞癌におけるソナゾイド造影エコー法の検討 -腫瘍血流の診断能と栄養血管の区域枝推定-

安藤 秀人(JA岐阜厚生連 東濃厚生病院)

Ⅵ. 学術集会

第81学術集会(会長 別府慎太郎)は、平成20年5月23日(金)、24日(土)、25日(日)の3日間、神戸国際展示場(兵庫県)を会場として開催した。参加人員3,088名、発表内容は下記のとおり。

第81回学術集会	
一般演題	奨励賞選考口演会 10題 一般演題 267題(基 礎 47, 歯 科 43, 消化器 33, 泌尿器 12, 産婦人科 22, 体表 16, 運動器・胸部 9, 神経 15, 運動器 10) ポスター 116題(基 礎 12, 歯 科 23, 消化器 42, 産婦人科 12, 体表 9, 神経 14, その他 3) 合 計 393題
特別講演	1) 超音波メガネなど「音の福祉工学」の最前線 2) 音波による超浅層地中映像化技術 -遺跡探査と地雷探査への応用- 3) 超音波エレクトロニクス将来展望 4) 海洋超音波、空中超音波 -超音波による計測技術- 5) 海洋音響学からの医学へのメッセージ
会長講演	私を愛した超音波
海外留学生招請講演	1) 超音波の生体作用(ソノポレーション、アポトーシス、薬物輸送) 2) 泌尿器科低侵襲手術における術中超音波ガイダンス 3) 微気泡によりラベルされた細胞における超音波イメージングの影響 4) 海外の研究室、研究内容、ここが違う -メイヨークリニック エコーラボの場合- 5) 胎児治療 6) 心臓再同期療法における心エコーの役割：心エコーの新たな地平線
企業は魅せます	1) バーチャルエコーライブ 2) 臨床に使える新たな技術 3) 我が社のここを見て下さい
シンポジウム	1) 心機能評価の新しい展開 2) 画像診断に与えた造影超音波のインパクト 3) 妊娠初期の胎児スクリーニングのあり方と標準化 4) 腎・泌尿器科領域の超音波検診のoverview 5) 最新の超音波事情：今、超音波をこう使っています 6) 成長と老化：臓器によって違う 7) 検診ではここを見逃さないように
パネルディスカッション	1) 超音波イメージングの最前線 2) 血管エコー他の診断法とのコラボレーション 3) 超音波による治療：何処までできるか 4) 弾性の考え方と診断法：各領域における見方 5) メタボリックシンドロームを超音波で考える 6) 深部静脈血栓症の超音波診断と治療戦略：コメディカルとの連携も含めて 7) 乳がん検診における超音波検査の役割
ワークショップ	1) 超音波検査と安全対策 2) 消化管疾患の超音波診断 -今日的意義と明日への展望- 3) 超音波検査士に求められている専門性とは何か
市民公開講座	1) 乳癌検診と超音波 2) 超音波と遊ぼう 3) 第7回ママと赤ちゃん、そしてパパのための超音波セミナー
教育セッション	1) 基礎 3題 2) 初級 8題 3) 中上級 11題
その他	第22回菊池賞・第3回伊東賞(論文賞)受賞記念講演 新技術開発セッション 平成18・19年度研究開発班研究成果発表会 検査業務の安全管理のためのシンポジウム
機器展示	34社

Ⅸ. 地方会学術集会

下記の地方会学術集会が開催された。

a. 北海道地方会学術集会

第35回 会長 筒井 裕之

平成20年9月20日 於：北翔大学北方圏学術センターポルト(札幌市) 参加者：279名 演題数：25題

第36回 会長 山本 克之

平成21年3月7日 於：北海道大学学術交流会館(札幌市) 参加者：165名 演題数：28題

b. 東北地方会学術集会

第36回 会長 鶴 飼 克明

平成20年9月21日 於：山形テルサ(山形市) 参加者：195名 演題数：26題

第37回 会長 谷川 真吾

平成21年3月15日 於：仙台市情報・産業プラザ(仙台市) 参加者：289名 演題数：36題

c. 関東甲信越地方会学術集会

第20回 会長 蜂屋 弘之

平成20年10月25日～26日 於：TFTホール(東京都江東区) 参加者：1,683名 演題数：103題

d. 中部地方会学術集会

第27回 会長 高橋 正明

平成20年9月28日 於：アクトシティ浜松コンgresセンター(浜松市) 参加者：296名 演題数：46題

- e. 関西地方会学術集会
第35回 会長 飯島 尋子
平成20年12月6日 於：神戸国際会議場(神戸市) 参加者：838名 演題数：156題
- f. 中国地方会学術集会
第44回 会長 吉田 清
平成20年9月20日 於：倉敷市芸文館(倉敷市) 参加者：258名 演題数：51題
- g. 四国地方会学術集会
第18回 会長 本田 俊雄
平成20年10月11日 於：松山市総合コミュニティセンター(松山市) 参加者：193名 演題数：50題
- h. 九州地方会学術集会
第18回 会長 皆越 真一
平成20年10月5日 於：鹿児島県医療センター(鹿児島市) 参加者：549名 演題数：73題

X. 規約等の制定・改正等

- 1. 制定
 - (1) 社団法人日本超音波医学会職員勤務評価規程(平成20年10月3日制定)
 - (2) 社団法人日本超音波医学会広報委員会規程(平成21年3月6日制定)
- 2. 改正
 - (1) 社団法人日本超音波医学会菊池賞(論文賞)選考内規(平成20年6月13日改正)
 - (2) 社団法人日本超音波医学会奨学制度(JSUM Fellowship)実施要領(平成20年10月3日理事会改正)
 - (3) 社団法人日本超音波医学会伊東賞(論文賞)選考内規(平成20年6月13日改正)
- 3. 廃止
 - (1) 社団法人日本超音波医学会インターネット規程(平成21年3月6日廃止)

XI. 各種委員会等報告

- 1. 企画委員会(委員長 田中 幸子)
 - a. 第82回学術集會期中に東京にて開催予定の「第2回超音波医学フォーラム」の企画を検討し、開催に向けての準備を行った。
 - b. 理事会および理事会を通して各委員会に提案を行なった。
 - c. 広報委員会設置を提言した。
 - d. ホームページに掲載する市民向け情報を公募した。
 - e. インターベンション手技の教育の必要性についての検討を専門医制度委員会ならびに教育委員会に要望した。
 - f. 超音波診断装置の標準化について機器および安全に関する委員会に要望した。
- 2. 機器及び安全に関する委員会(委員長 秋山いわき)
 - a. 電子技術情報産業協会の超音波応用機器標準化委員会と共に超音波診断機器用プローブの温度上昇に関する検討を行い、超音波診断装置の安全規格作成作業に寄与し、今後も同委員会とのリエゾン活動を継続する。
また、プローブやモニタの経年変化等に関する超音波診断画像の劣化について、性能劣化が生じ得ることの注意喚起と、ファントムなどを用いた性能評価についての調査を行い、その結果を会員に周知していくこととした。
 - b. 超音波造影剤の安全性について、第3回動物実験で得られた電顕試料の造影評価結果を論文として投稿する。
 - c. 超音波診断装置の精度管理手法について、小委員会を設置し、検討を行った。
 - d. 第82回学術集會に於ける横断的シンポジウム「超音波による治療と安全性」を企画した。
 - e. 超音波診断装置の安全規格に関する最新動向を把握するため、国際電気標準会議(IEC)に委員を派遣した。
 - f. 「超音波の安全に関する資料」をホームページに掲載するための準備を行った。
- 3. 編集委員会(委員長 谷口 信行)
 - a. 和文誌「超音波医学」第35巻Supplement号(学術集會抄録号)、第35巻3号から6号と第36巻1号から2号までの7冊、及び英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」Vol. 35 No. 2からNo. 4とVol. 36 No. 1までの4冊、計11冊を発行した。
 - b. 過去の学会誌(Vol. 14 No. 1(1987)～Vol. 18 No. 9(1991))のPDF化を行った。
 - c. 英文誌について、海外の研究者を論文査読委員として招請した。
- 4. 用語・診断基準委員会(委員長 貴田岡正史)
 - a. 医用超音波用語関係
 - 1) 医用超音波用語集を改訂し、検索可能な電子データとして本会ホームページに掲載した。
 - b. 超音波診断基準関係
 - 1) 泌尿器領域に関して「腎限局性病変の超音波診断基準(案)」、「尿路結石の超音波診断基準(案)」、「膀胱疾患の超音波診断基準(案)」、「前立腺疾患の超音波診断基準(案)」、「陰嚢内疾患の超音波診断基準(案)」、「超音波による泌尿器領域の容積計測法(案)」並びに「Criteria for ultrasonic diagnosis of localized renal disease (draft)」、「Criteria for ultrasonic diagnosis of urinary tract stone (draft)」、「Criteria for ultrasonic diagnosis of bladder disease (draft)」、「Criteria for ultrasonic diagnosis of prostate disease (draft)」、「Criteria for ultrasonic diagnosis of intrascrotal disease (draft)」、「Volume measurement in the field of urology(draft)」公示に向けて検討を行なった。
 - 2) 「超音波による頸動脈病変の標準的評価法」、並びに「Standard Method for Ultrasound Evaluation of Carotid Artery Lesions」作成に向けて検討を行なった。
 - 3) 「CRT適応選択のための心エコー諸指標の解説」作成に向けて検討を行なった。
 - 4) 「肝腫瘍の超音波診断基準」改訂に向けて検討を行なった。
 - 5) 「肺癌診断基準」改訂に向けて検討を行なった。
 - 6) 「消化管診断基準」作成に向けて検討を行なった。
 - 7) 「双胎妊娠胎児の標準値」作成に向けて検討を行なった。
 - 8) 「胎児静脈系血流の標準値」作成に向けて検討を行なった。
 - 9) 「乳腺疾患超音波診断のためのガイドライン：腫瘍非形成性病変」作成に向けて検討を行なった。
 - 10) 「結節性甲状腺疾患診断基準」作成に向けて検討を行なった。
 - 11) 「眼科領域の超音波画像表示と計測のための検査指針」改訂に向けて検討を行なった。
 - 12) 「肩腱板断裂診断基準」作成に向けて検討を行なった。
- 5. 保険委員会(委員長 竹内 和男)
 - a. 外保連、及び内保連へ診療報酬点数改定、及び新規適用項目を取りまとめて、要望書を提出した。
 - b. 他学会、及び関係団体との情報交換を行った。
 - c. 会員等から保険診療の査定方針等の意見の収集と整理を行った。
- 6. 国際交流委員会(委員長 工藤 正俊)
 - a. 社団法人日本超音波医学会奨学制度(JSUM Fellowship)関係
「社団法人日本超音波医学会奨学制度実施要領」に準拠して下記の活動を行った。

- 1) 2008年度JSUM Fellowship研修生3名の研修を実施した。
- 2) 2009年度JSUM Fellowship研修生を公募し、選考を行った。
- 3) 今後の国際貢献のあり方について検討を行った。
- b. 世界超音波医学学会連合(WFUMB)・アジア超音波医学学会連合(AFSUMB)関係
 - 1) 2009年にシドニー(平成21年8月30日～9月3日)にて開催される第12回WFUMBに学術、広報などの面で協力した。
 - 2) WFUMBとAFSUMBの関連機関誌、及び本学会ホームページにおいてJSUM Fellowshipの募集広告を行った。
 - 3) WFUMBとAFSUMBのEducation Programに協力した。
7. 教育委員会(委員長 森安史典)
 - a. 第81回学術集會会期中の平成20年5月23日(金)から25日(日)に神戸国際展示場(兵庫県)を会場として、第7回教育セッションを開催し、1,093名の参加があった。
 - b. 第82回学術集會会期中に東京にて開催予定の「第8回教育セッション」の企画し、開催に向けての準備を行った。
 - c. 平成20年6月29日(日)に東京ビックサイト(東京都)を会場として、「超音波講習会-血管-」を開催し、107名の参加があった。
 - d. 平成20年8月23日(土)にパシフィコ横浜(神奈川県)を会場として、「超音波講習会-腹部救急の診断-」を開催し、91名の参加があった。
 - e. 平成21年度に開催予定の「超音波診断講習会」の企画を検討し、開催に向けての準備を行った。
8. 超音波専門医制度委員会(委員長 千田彰一)
 - a. 平成20年度に認定した研修施設(新規16施設、更新18施設)に対し、平成20年4月1日付で認定証を交付し、併せて学会誌に公示した。(超音波医学第35巻3号)
 - b. 第18回超音波専門医認定試験を実施し、合格者60名に対して専門医の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて平成20年10月1日付で超音波専門医認定証を交付した。(超音波医学第35巻5号)
 - c. 第14回超音波専門医資格更新を実施し、更新者317名、猶予・保留者16名の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて更新者へは平成20年10月1日付で超音波専門医認定証を交付した。(超音波医学第35巻5号)
 - d. 平成20年度超音波指導医の委嘱審査を行い、新規28名、及び更新113名の委嘱を行い、学会誌に公示し、併せて平成20年12月1日付で超音波指導医認定証を交付した。(超音波医学第36巻1号)
 - e. 第19回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織し、同認定試験実施に関する会告を公示した。(超音波医学第36巻1号)
 - f. 平成20年12月1日現在での超音波指導医・所属施設別一覧を公示した。(超音波医学第36巻1号)
 - g. 第15回超音波専門医更新に関する会告を公示した。(超音波医学第36巻2号)
 - h. 平成21年度研修施設の指定に向けての審査を行い、新規17施設、更新21施設を指定して、平成21年4月1日付で認定証を交付し、併せて学会誌に公示する予定である。(超音波医学第36巻3号)
 - i. 資格更新システムのIT化についての検討を行った。
 - j. 企画委員会との連携して、本制度の改革、及び整備に関する審議を行った。
 - k. 社団法人日本専門医制評価・認定機構総会に出席した。
9. 顕彰委員会(委員長 松崎益徳)
 - a. 第10回特別学会賞の選考を行い、1名を授賞した。
 - b. 第7回松尾賞の選考を行い、2名を授賞した。
 - c. 第8回技術賞の選考を行い、3件を授賞した。
 - d. 第22回菊池賞(論文賞)の選考を行い、1編を授賞した。
 - e. 第3回伊東賞(論文賞)の選考を行い、2編を授賞した。
 - f. 第9回奨励賞の選考を行い、5編を授賞した。
10. 超音波検査士制度委員会(委員長 増山理)
 - a. 第24回超音波検査士認定試験を実施し、合格者1,410名に対して検査士の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて平成21年4月1日付で超音波検査士認定証、及び超音波検査士カードを交付した。(超音波医学第36巻3号)
 - b. 2009年超音波検査士資格更新を実施し、更新者1,203名、猶予・保留者34名の認定、及び登録を行い、学会誌に公示する予定である。併せて更新者へは平成21年4月1日付で超音波検査士認定証、及び超音波検査士カードを交付した。(超音波医学第36巻3号)
11. 超音波工学フェロー認定審査委員会(委員長 蜂屋弘之)
 - a. 第10回超音波工学フェロー認定審査を行い、2名に対して工学フェローを認定し、学会誌及びホームページに公示した。(超音波医学第35巻6号)
また、併せて希望者には平成20年10月1日付で超音波工学フェロー認定証を交付した。
 - b. 第5回超音波工学フェロー資格更新審査を行い、更新者1名の認定、及び登録を行い、学会誌及びホームページに公示した。(超音波医学第35巻6号)
また、併せて希望者には平成20年7月1日付で超音波工学フェロー認定証を交付した。
 - c. 第11回超音波工学フェローの公募に関する会告を学会誌及びホームページにて公示した。(超音波医学第36巻2号)
 - d. 資格更新システムのIT化についての検討を行った。
12. 研究開発促進委員会(委員長 山下裕一)
 - a. 平成20年度研究開発班設置申請6件の審査を行い、6件(継続1件・新規5件)の開発班の設置を認可した。
 - b. 第81回学術集會会期中に「新技術開発セッション」を実施した。
 - c. 平成20年度研究会設置申請2件の審査を行い、以下2件(継続1件・新規1件)の研究会の設置を認可した。
 - 1) 超音波分子診断治療研究会
 - 2) 超音波医学の基礎技術に関する研究会
 - d. 平成21年度研究開発班設置申請に関する会告を公示し、応募書類を審査した。(超音波医学第35巻5号)
 - e. 平成21年度研究会設置申請に関する会告を公示し、応募書類を審査した。(超音波医学第35巻5号)
13. 倫理委員会(委員長 跡見裕)

超音波医学の研究、診療、教育情報、安全に関する倫理的諸問題について検討を行った。
14. 学術集會委員会(委員長 遠藤信行)
 - a. 学術集會の主にプログラムについて、学術集會長へ要望した。
 - b. 将来視野で学術集會の在り方を検討した。
15. 新公益法人への移行検討委員会(委員長 岡井崇)

公益法人制度改革に伴う新法人への移行に関して、本学会の機構(定款、規約等を含む)のうち、申請に必要な箇所について審議を行った。
16. 会員資格審査関係(担当理事(主) 竹中克)

会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記認定の審査を行った。

 - 1) 入会希望者及び退会希望者の審査
 - 2) 除名該当者の審査

- 3) 会員種別変更希望者の審査
- 4) 休会希望者の審査

17. 学術集会関係(担当理事(主) 岡井 崇)

第84回学術集會会長候補者について、役員及び代議員宛に自薦、並びに他薦依頼を行い、それに基づき候補者を理事会で決定した。

18. 地方会関係(担当理事(主) 山下 裕一)

- a. 地方会に関する事業の発展、充実及び円滑な運営の促進
 - 1) 各地方会の事業が円滑に運営されるよう指導及び助言を行った。
 - 2) 地方会交付金の算定を行い、交付した。
 - 3) 地方会学術集会に関して助言を行った。
 - 4) 地方会講習会に関して助言を行った。
- b. 地方会運営委員長会議を開催し、各地方会相互の連絡を緊密に行った。
- c. 地方会を通じて正会員増加の推進を行った。
- d. 各地方会学術集会演題受付のWebシステムを構築した。
- e. 抄録をWebに掲載した。

19. 規約関係(担当理事(主) 竹中 克)

本会規約等の制定、改正、及び廃止を行った。(Ⅶ項参照)

20. インターネット関係(担当理事(主) 金井 浩)

本学会会員のためのWEBシステムの改良を行い、会員への利便を図った。

XI. 日本医学会関係(担当理事 田中 幸子)

- 1. 第76回日本医学会定例評議員会に出席した。
- 2. 第2回日本医学会臨床部会会議に出席した。

(資料 2)

収支計算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	360,000	359,999	1	
会費収入	148,142,000	145,487,000	2,655,000	
正会員会費	(103,675,000)	(100,344,000)	(3,331,000)	
準会員会費	(41,780,000)	(42,456,000)	(△ 676,000)	
学生会員会費	(7,000)	(7,000)	(0)	
賛助会員会費	(2,680,000)	(2,680,000)	(0)	
入会金収入	1,098,000	1,164,500	△ 66,500	
広告収入	2,320,000	2,570,000	△ 250,000	
学術集会収入	68,300,000	88,077,102	△ 19,777,102	
参加費収入	(20,950,000)	(32,894,000)	(△ 11,944,000)	
学術機器展示収入ほか	(47,350,000)	(55,183,102)	(△ 7,833,102)	
地方会関係収入	41,790,000	35,908,720	5,881,280	
学会誌別刷収入	350,000	543,000	△ 193,000	
WFUMB会誌収入	1,800,000	1,160,000	640,000	
各種委員会収入	0	0	0	
企画委員会収入	(0)	(0)	(0)	
専門医制度関係収入	6,907,000	6,906,000	1,000	
認定試験	(2,280,000)	(2,540,000)	(△ 260,000)	
更新認定料	(3,412,000)	(3,175,000)	(237,000)	
資料頒布料	(1,215,000)	(1,191,000)	(24,000)	
工学フェロー制度関係収入	31,000	7,000	24,000	
認定審査	(25,000)	(1,500)	(23,500)	
更新認定料	(6,000)	(5,500)	(500)	
検査士制度関係収入	54,420,000	51,637,500	2,782,500	
認定試験	(48,000,000)	(45,125,000)	(2,875,000)	
更新認定料	(6,270,000)	(6,265,500)	(4,500)	
資料頒布料	(150,000)	(247,000)	(△ 97,000)	
教育関係収入	10,360,000	5,722,000	4,638,000	
教育セッション	(1,600,000)	(2,186,000)	(△ 586,000)	
講習会収入	(8,750,000)	(3,525,000)	(5,225,000)	
資料頒布料	(10,000)	(11,000)	(△ 1,000)	
雑収入	2,000,000	1,270,344	729,656	
寄付金収入	0	0	0	
受取利息	700,000	1,164,063	△ 464,063	
事業活動収入計 (A)	338,578,000	341,977,228	△ 3,399,228	
2. 事業活動支出				
事業費				
学会誌経費	55,503,000	56,471,535	△ 968,535	
出版費	(38,400,000)	(40,646,025)	(△ 2,246,025)	
発送経費	(11,607,000)	(11,072,551)	(534,449)	
編集委員会費	(3,296,000)	(3,327,604)	(△ 31,604)	
英文校正費	(1,950,000)	(1,325,355)	(624,645)	
査読通信費	(250,000)	(100,000)	(150,000)	
国際交流関係費	6,831,000	6,865,383	△ 34,383	
奨学金	(3,600,000)	(3,600,000)	(0)	
委員会費	(480,000)	(638,579)	(△ 158,579)	
AFSUMB分担金	(2,751,000)	(2,626,804)	(124,196)	
WFUMB機関誌代	2,084,000	1,886,828	197,172	
学術集会関係費	69,003,000	84,168,057	△ 15,165,057	
学術集会経費	(68,300,000)	(84,168,057)	(△ 15,868,057)	
学術集会同議費	(703,000)	(0)	(703,000)	
学術集会補助金	2,000,000	2,000,000	0	
地方会関係費	60,946,000	51,733,063	9,212,937	
地方会学術集会経費	(41,790,000)	(33,326,868)	(8,463,132)	

科目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
地方会交付金	(17,399,000)	(17,390,266)	(8,734)	
運営委員長会議費	(1,757,000)	(1,015,929)	(741,071)	
各種委員会費	10,093,000	5,881,274	4,211,726	
用語・診断基準委員会費	(4,730,000)	(3,150,109)	(1,579,891)	
企画委員会費	(460,000)	(290,900)	(169,100)	
保険委員会	(484,000)	(212,880)	(271,120)	
機器および安全に関する委員会	(2,435,000)	(1,164,491)	(1,270,509)	
倫理委員会	(40,000)	(0)	(40,000)	
規約関係	(40,000)	(0)	(40,000)	
インターネット関係	(644,000)	(827,925)	(△ 183,925)	
学術集会委員会	(930,000)	(34,340)	(895,660)	
検査業務安全管理ワーキング	(330,000)	(200,629)	(129,371)	
専門医制度委員会費	5,629,000	6,250,588	△ 621,588	
専門医認定関係費	(3,927,000)	(3,072,961)	(854,039)	
専門医制度委員会費	(1,702,000)	(3,177,627)	(△ 1,475,627)	
頒布資料印刷費	(0)	(0)	(0)	
工学フェロー制度委員会費	1,393,000	1,375,030	17,970	
工学フェロー認定費	(3,000)	(5,910)	(△ 2,910)	
工学フェロー制度委員会費	(1,390,000)	(1,369,120)	(20,880)	
検査士制度委員会費	18,281,000	17,166,516	1,114,484	
検査士認定関係費	(15,043,000)	(14,372,807)	(670,193)	
検査士制度委員会費	(820,000)	(2,647,549)	(△ 1,827,549)	
頒布資料印刷費	(2,418,000)	(146,160)	(2,271,840)	
教育委員会費	12,010,000	5,536,527	6,473,473	
教育セッション費	(2,060,000)	(1,533,872)	(526,128)	
講習会経費	(8,493,000)	(3,864,395)	(4,628,605)	
教育委員会費	(757,000)	(138,260)	(618,740)	
生涯教育費	(700,000)	(0)	(700,000)	
顕彰委員会関係費	6,770,000	5,988,175	781,825	
賞金関係	(6,500,000)	(4,900,000)	(1,600,000)	
顕彰委員会費	(270,000)	(1,088,175)	(△ 818,175)	
研究開発促進委員会費	15,000,000	10,007,207	4,992,793	
研究開発班設置費	(12,500,000)	(8,288,163)	(4,211,837)	
研究会設置費	(2,000,000)	(935,851)	(1,064,149)	
研究開発促進委員会費	(500,000)	(783,193)	(△ 283,193)	
事業費計	265,543,000	255,330,183	10,212,817	
管理費				
人件費	43,121,000	42,186,127	934,873	
会計顧問料	525,000	525,000	0	
福利厚生費	700,000	668,132	31,868	
法定福利費	4,800,000	5,729,260	△ 929,260	
職員交通費	1,540,000	2,211,270	△ 671,270	
事務所賃借料	24,789,000	24,819,804	△ 30,804	
事務用機器賃借料	710,000	924,840	△ 214,840	
備品費	400,000	18,900	381,100	
文具消耗品費	800,000	399,176	400,824	
光熱水料	900,000	1,353,202	△ 453,202	
事務OA化費	500,000	613,387	△ 113,387	
会議費	2,700,000	4,102,780	△ 1,402,780	
印刷費	1,000,000	1,427,901	△ 427,901	
通信費	3,400,000	2,702,947	697,053	
公租公課	1,500,000	13,454,298	△ 11,954,298	
雑費	500,000	772,891	△ 272,891	
払込手数料	1,700,000	1,728,037	△ 28,037	
選挙関係費	50,000	69,120	△ 19,120	
退職金	0	788,160	△ 788,160	
管理費計	89,635,000	104,495,232	△ 14,860,232	
事務所移転費用	0	0	0	

科目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
事業活動支出計 (B)	355,178,000	359,825,415	△ 4,647,415	
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	△ 16,600,000	△ 17,848,187	1,248,187	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
敷金・保証金戻り収入	0	0	0	
敷金戻り収入	(0)	(0)	(0)	
特定預金取崩収入	18,000,000	28,000,000	△ 10,000,000	
事務所整備基金取崩収入	(0)	(0)	(0)	
学術奨励基金取崩収入	(11,000,000)	(21,000,000)	(△ 10,000,000)	
松尾賞基金取崩収入	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)	
研究開発班設置基金取崩収入	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)	
伊東賞基金取崩収入	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)	
投資活動収入計 (D)	18,000,000	28,000,000	△ 10,000,000	
2. 投資活動支出				
敷金・保証金支出	0	0	0	
敷金支出	(0)	(0)	(0)	
特定預金繰入支出	900,000	0	900,000	
退職給付引当預金支出	(900,000)	(0)	(900,000)	
研究開発班設置基金繰入支出	(0)	(0)	(0)	
投資活動支出計 (E)	900,000	0	900,000	
投資活動収支差額 (F)=(D)-(E)	17,100,000	28,000,000	△ 10,900,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入			0	
財務活動収入計 (G)	0	0	0	
2. 財務活動支出			0	
財務活動支出計 (H)	0	0	0	
財務活動収支差額 (I)=(G)-(H)	0	0	0	
IV 予備費支出				
	500,000	-	500,000	
当期収支差額 (J)=(C)+(F)+(I)	0	10,151,813	△ 10,151,813	
前期繰越収支差額 (K)	0	47,634,435	△ 47,634,435	
次期繰越収支差額 (J)+(K)	0	57,786,248	△ 57,786,248	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、前払金、仮払金、未収入金、前受金、仮受金、未払金及び預り金を含めている。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	42,682,835	47,197,741
前 払 金	4,782,698	5,004,000
仮 払 金	5,000,000	11,390,000
未収入金	270,000	410,000
合 計	52,735,533	64,001,741
前 受 金	954,370	1,199,000
仮 受 金	2,121,500	2,087,730
未 払 金	1,738,162	2,645,640
預 り 金	287,066	283,123
合 計	5,101,098	6,215,493
次期繰越収支差額	47,634,435	57,786,248

貸借対照表

平成21年3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	33,182,637	22,353,942	10,828,695
郵便振替	14,015,104	20,328,893	△ 6,313,789
前払金	5,004,000	4,782,698	221,302
仮払金	11,390,000	5,000,000	6,390,000
未収入金	410,000	270,000	140,000
流動資産合計	64,001,741	52,735,533	11,266,208
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本口定期預金	36,000,000	36,000,000	0
基本財産合計	36,000,000	36,000,000	0
(2) 特定資産			
定期預金	233,522,641	261,522,641	△ 28,000,000
特定資産合計	233,522,641	261,522,641	△ 28,000,000
(3) その他固定資産			
建物付属設備	3,690,600	3,690,600	0
什器備品	6,236,300	6,236,300	0
減価償却累計額	△ 2,860,067	△ 1,725,569	△ 1,134,498
敷金	15,176,700	15,176,700	0
電話加入権	0	0	0
その他固定資産合計	22,243,533	23,378,031	△ 1,134,498
固定資産合計	291,766,174	320,900,672	△ 29,134,498
資産合計	355,767,915	373,636,205	△ 17,868,290
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,645,640	1,738,162	907,478
前受金	1,199,000	954,370	244,630
預り金	283,123	287,066	△ 3,943
仮受金	2,087,730	2,121,500	△ 33,770
流動負債合計	6,215,493	5,101,098	1,114,395
2. 固定負債			
退職給付引当金	35,925,330	34,343,865	1,581,465
固定負債合計	35,925,330	34,343,865	1,581,465
負債合計	42,140,823	39,444,963	2,695,860
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(36,000,000)	(36,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(233,522,641)	(261,522,641)	(△ 28,000,000)
正味財産合計	313,627,092	334,191,242	△ 20,564,150
負債及び正味財産合計	355,767,915	373,636,205	△ 17,868,290

正味財産増減計算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	359,999	360,986	△ 987
会費収入	145,487,000	146,894,000	△ 1,407,000
正会員会費	(100,344,000)	(102,350,000)	(△ 2,006,000)
準会員会費	(42,456,000)	(41,777,000)	(679,000)
学生会員会費	(7,000)	(7,000)	(0)
賛助会員会費	(2,680,000)	(2,760,000)	(△ 80,000)
入会金収入	1,164,500	1,088,500	76,000
広告収入	2,570,000	2,753,647	△ 183,647
学術集会収入	88,077,102	141,729,149	△ 53,652,047
参加費収入	(32,894,000)	(22,634,000)	(10,260,000)
学術機器展示収入ほか	(55,183,102)	(119,095,149)	(△ 63,912,047)
地方会関係収入	35,908,720	37,811,612	△ 1,902,892
学会誌別刷収入	543,000	295,000	248,000
WFUMB会誌収入	1,160,000	1,270,000	△ 110,000
各種委員会収入	0	426,000	△ 426,000
企画委員会収入	(0)	(426,000)	(△ 426,000)
専門医制度関係収入	6,906,000	5,716,000	810,000
認定試験	(2,540,000)	(2,160,000)	(380,000)
更新認定料	(3,175,000)	(2,308,000)	(867,000)
資料頒布料	(1,191,000)	(1,248,000)	(△ 57,000)
工学フェロー制度関係収入	7,000	12,500	△ 5,500
認定審査	(1,500)	(6,000)	(△ 4,500)
更新認定料	(5,500)	(6,500)	(△ 1,000)
検査士制度関係収入	51,637,500	51,594,000	43,500
認定試験	(45,125,000)	(45,310,000)	(△ 185,000)
更新認定料	(6,265,500)	(6,102,000)	(163,500)
資料頒布料	(247,000)	(182,000)	(65,000)
教育関係収入	5,722,000	6,585,000	△ 863,000
教育セッション	(2,186,000)	(1,212,000)	(974,000)
講習会収入	(3,525,000)	(5,360,000)	(△ 1,835,000)
資料頒布料	(11,000)	(13,000)	(△ 2,000)
雑収入	1,270,344	1,033,454	236,890
寄付金収入	0	0	0
受取利息	1,164,063	1,000,102	163,961
退職給与引当金取り崩し額	788,160	0	788,160
経常収益計 (A)	342,765,388	398,569,950	△ 55,804,562
(2) 経常費用			
事業費			
学会誌経費	56,471,535	59,280,669	△ 2,809,134
出版費	(40,646,025)	(42,651,994)	(△ 2,005,969)
発送経費	(11,072,551)	(11,833,256)	(△ 760,705)
編集委員会費	(3,327,604)	(3,070,556)	(257,048)
英文校正費	(1,325,355)	(1,093,663)	(231,692)
査読通信費	(100,000)	(631,200)	(△ 531,200)
国際交流関係費	6,865,383	6,938,663	△ 73,280
奨学金	(3,600,000)	(3,600,000)	(0)
委員会費	(638,579)	(502,162)	(136,417)
AFSUMB分担金	(2,626,804)	(2,836,501)	(△ 209,697)
WFUMB機関誌代	1,886,828	2,442,857	△ 556,029
学術集会関係費	84,168,057	143,167,877	△ 58,999,820
学術集会経費	(84,168,057)	(142,773,757)	(△ 58,605,700)
学術集会同議費	(0)	(394,120)	(△ 394,120)
学術集会補助金	2,000,000	2,000,000	0
地方会関係費	51,733,063	54,334,483	△ 2,601,420
地方会学術集会経費	(33,326,868)	(36,165,233)	(△ 2,838,365)
地方会交付金	(17,390,266)	(17,087,964)	(302,302)
運営委員長会議費	(1,015,929)	(1,081,286)	(△ 65,357)
各種委員会費	5,881,274	5,639,714	241,560
用語・診断基準委員会費	(3,150,109)	(1,852,923)	(1,297,186)
企画委員会費	(290,900)	(2,569,761)	(△ 2,278,861)
保険委員会	(212,880)	(235,600)	(△ 22,720)
機器および安全に関する委員会	(1,164,491)	(0)	(1,164,491)
倫理委員会	(0)	(0)	(0)
規約関係	(0)	(204,080)	(△ 204,080)

インターネット関係	(827,925)	(777,350)	(50,575)
学術集会委員会	(34,340)	(0)	(34,340)
検査業務安全ワーキンググループ	(200,629)	(0)	(200,629)
専門医制度委員会費	6,250,588	7,765,622	△ 1,515,034
専門医認定関係費	(3,072,961)	(2,816,785)	(256,176)
専門医制度委員会費	(3,177,627)	(4,222,237)	(△ 1,044,610)
頒布資料印刷費	(0)	(726,600)	(△ 726,600)
工学フェロー制度委員会費	1,375,030	0	1,375,030
工学フェロー認定費	(5,910)	(0)	(5,910)
工学フェロー制度委員会費	(1,369,120)	(0)	(1,369,120)
検査士制度委員会費	17,166,516	16,574,090	592,426
検査士認定関係費	(14,372,807)	(14,933,136)	(△ 560,329)
検査士制度委員会費	(146,160)	(1,399,454)	(△ 1,253,294)
頒布資料印刷費	(2,647,549)	(241,500)	(2,406,049)
教育委員会費	5,536,527	5,634,699	△ 98,172
教育セッション費	(1,533,872)	(3,058,544)	(△ 1,524,672)
講習会経費	(3,864,395)	(2,110,469)	(1,753,926)
教育委員会費	(138,260)	(465,686)	(△ 327,426)
生涯教育費	(0)	(0)	(0)
顕彰委員会関係費	5,988,175	6,739,029	△ 750,854
賞金関係	(4,900,000)	(5,600,000)	(△ 700,000)
顕彰委員会費	(1,088,175)	(1,139,029)	(△ 50,854)
研究開発促進委員会費	10,007,207	9,914,606	92,601
研究開発班設置費	(8,288,163)	(8,698,686)	(△ 410,523)
研究会設置費	(935,851)	(775,008)	(160,843)
研究開発促進委員会費	(783,193)	(440,912)	(342,281)
事業費計	255,330,183	320,432,309	△ 65,102,126
管理費			
人件費	42,186,127	41,356,427	829,700
会計顧問料	525,000	525,000	0
福利厚生費	668,132	693,258	△ 25,126
法定福利費	5,729,260	5,674,845	54,415
職員交通費	2,211,270	1,843,630	367,640
事務所賃借料	24,819,804	24,819,804	0
事務用機器賃借料	924,840	792,540	132,300
備品費	18,900	83,580	△ 64,680
文具消耗品費	399,176	534,471	△ 135,295
光熱水料	1,353,202	1,416,498	△ 63,296
事務OA化費	613,387	211,087	402,300
会議費	4,102,780	3,775,149	327,631
印刷費	1,427,901	1,661,569	△ 233,668
通信費	2,702,947	4,247,526	△ 1,544,579
公租公課	13,454,298	1,859,100	11,595,198
雑費	772,891	920,342	△ 147,451
払込手数料	1,728,037	1,731,532	△ 3,495
選挙関係費	69,120	2,090,916	△ 2,021,796
退職金	788,160	0	788,160
減価償却費	1,134,498	1,134,498	0
退職給付引当金繰入額	2,369,625	13,900,885	△ 11,531,260
管理費計	107,999,355	109,272,657	△ 1,273,302
経常費用計 (B)	363,329,538	429,704,966	△ 66,375,428
当期経常増減額 (C) = (A) - (B)	△ 20,564,150	△ 31,135,016	10,570,866
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計 (D)	0	0	0
(2) 経常外費用			
事務所移転費用	0	0	0
経常外費用計 (E)	0	0	0
当期経常外増減額 (F) = (D) - (E)	0	0	0
当期一般正味財産増減額 (G) = (C) + (E)	△ 20,564,150	△ 31,135,016	10,570,866
一般正味財産期首残高 (H)	334,191,242	365,326,258	△ 31,135,016
一般正味財産期末残高 (G) + (H)	313,627,092	334,191,242	△ 20,564,150
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	313,627,092	334,191,242	△ 20,564,150

財産目録
平成21年3月31日現在

(単位:円)

科 目			金 額		
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金			33,182,637		
現金手許有高			(86,082)		
普通預金	りそな銀行本郷支店		(15,790,117)		
普通預金	りそな銀行本郷支店		(2,267,727)		
普通預金	りそな銀行本郷支店		(1,977,677)		
普通預金	りそな銀行本郷支店		(97,125)		
普通預金	みずほ銀行本郷支店		(3,931,545)		
普通預金	三菱東京UFJ銀行本郷支店		(8,251,674)		
普通預金	三菱東京UFJ銀行春日町支店		(780,690)		
郵便振替	00130-8-93294		14,015,104		
前払金	第82回学術集会補助金		4,000,000		
〃	講習会会場費ほか		1,004,000		
仮払金	第82回学術集会貸付金ほか		11,390,000		
未収入金	学会誌(和文35-1)広告料ほか		410,000		
流動資産合計				64,001,741	
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
基本口定期預金	中央三井信託銀行本店		36,000,000		
基本財産合計			36,000,000		
(2) 特定資産					
定期預金			233,522,641		
退職給付引当預金	定期預金	りそな銀行本郷支店	(12,486,010)		
減価償却引当預金	定期預金	りそな銀行本郷支店	(2,500,000)		
国際交流基金預金	定期預金	三菱東京UFJ銀行本郷支店	(4,500,000)		
名簿刊行基金預金	定期預金	りそな銀行本郷支店	(10,000,000)		
事務所整備基金預金	定期預金	三菱東京UFJ銀行春日町支店	(70,000,000)		
学術奨励基金預金	定期預金	三菱東京UFJ銀行本郷支店	(9,000,000)		
〃	定期預金	みずほ銀行本郷支店	(85,500,000)		
松尾賞基金預金	定期貯金	ゆうちょ銀行	(4,500,000)		
研究開発班設置基金預金	定期預金	三菱東京UFJ銀行本郷支店	(10,000,000)		
伊東賞基金預金	定期預金	みずほ銀行本郷支店	(25,036,631)		
特定資産合計			233,522,641		
(3) その他固定資産					
建物付属設備			3,690,600		
什器備品			6,236,300		
減価償却累計額			△ 2,860,067		
敷金	㈱福友商事		15,176,700		
その他固定資産合計			22,243,533		
固定資産合計				291,766,174	
資産合計					355,767,915
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	81回学術集会監査費用ほか		712,940		
〃	平成20年度消費税・法人税ほか		1,932,700		
前受金	平成21年度以降会費		1,199,000		
預り金	平成20年度分雇用保険料ほか		283,123		
仮受金	入会未承認新入会員入金分ほか		2,087,730		
流動負債合計				6,215,493	
2. 固定負債					
退職給付引当金			35,925,330		
固定負債合計				35,925,330	
負債合計					42,140,823
正味財産					313,627,092

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
個別法に基づく原価基準である。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
建物附属設備及び什器備品・・・定額法によっている。
- (3) 引当金の計算基準
退職給付引当金・・・期末退職給与要支給額に相当する金額を計上している。
- (4) リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっている。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は、税込み方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	36,000,000	0	0	36,000,000
小計	36,000,000	0	0	36,000,000
特定資産				
退職給付引当預金	12,486,010	0	0	12,486,010
減価償却引当預金	2,500,000	0	0	2,500,000
国際交流基金預金	4,500,000	0	0	4,500,000
名簿刊行基金預金	10,000,000	0	0	10,000,000
事務所整備基金預金	70,000,000	0	0	70,000,000
学術奨励基金預金	115,500,000	0	21,000,000	94,500,000
松尾賞基金預金	5,500,000	0	1,000,000	4,500,000
研究開発班設置基金預金	15,000,000	0	5,000,000	10,000,000
伊東賞基金預金	26,036,631	0	1,000,000	25,036,631
小計	261,522,641	0	28,000,000	233,522,641
合計	297,522,641	0	28,000,000	269,522,641

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	36,000,000	0	36,000,000	0
小計	36,000,000	0	36,000,000	0
特定資産				
退職給付引当預金	12,486,010	0	0	12,486,010
減価償却引当預金	2,500,000	0	2,500,000	0
国際交流基金預金	4,500,000	0	4,500,000	0
名簿刊行基金預金	10,000,000	0	10,000,000	0
事務所整備費基金預金	70,000,000	0	70,000,000	0
学術奨励基金預金	94,500,000	0	115,500,000	0
松尾賞基金預金	4,500,000	0	5,500,000	0
研究開発班設置基金預金	10,000,000	0	15,000,000	0
伊東賞基金預金	25,036,631	0	26,036,631	0
小計	233,522,641	0	249,036,631	12,486,010
合計	269,522,641	0	285,036,631	12,486,010

4. 担保に供している資産

担保に供している資産はない。

5. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

保証債務はない。

平成20年度収支決算監査報告

平成20年度収支決算について、監査をおこなったところ、適正な
経理が行われたことを認めます。

平成21年4月20日

社団法人日本超音波医学会

監 事

羽田 勝征 

監 事

千原 國光 

独立監査人の監査報告書

平成 21 年 4 月 22 日

社団法人日本超音波医学会

理事長 岡 井 崇 殿

馬目公認会計士事務所

公認会計士 馬 目 利 昭



私は、社団法人日本超音波医学会の平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日までの平成 20 年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録、並びに収支計算書（以下「財務諸表等」という。）についての監査を行った。この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、私の意見は次のとおりである。

- (1) 財務諸表は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、社団法人日本超音波医学会の平成 20 年度末日現在の財政状態並びに同事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成 17 年 3 月 23 日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に従って、社団法人日本超音波医学会の平成 20 年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

社団法人日本超音波医学会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(資料 4)

平成21年度事業計画(案)

(自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)

平成21年度における本会の事業計画は次のとおりである。

I. 学会誌の発行

和文誌「超音波医学」第36巻Supplement号(学術集会抄録集)、第36巻3号から6号と第37巻1号から2号までの7冊、及び英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」Vol.36 No.2からNo.4とVol.37 No.1の4冊、計11冊を発行し、会員に配付する。

II. 学術集会

学術集会を下記のとおり年1回開催し、講演抄録は学会誌として発行する。

第82回学術集会 (会長 椎名 毅)

平成21年5月22日～24日 於：東京国際フォーラム(東京都)

以降の予定

第83回学術集会 (会長 工藤 正俊)

平成22年5月29日～31日 於：京都国際会議場(京都府)

第84回学術集会 (会長 竹中 克)

平成23年5月27日～29日 於：グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール(東京都)

III. 地方会学術集会

下記の地方会の開催を予定している。

a. 北海道地方会学術集会

第37回 会長 長谷部直幸

平成21年11月7日 於：旭川医科大学(旭川市)

第38回 会長 三神大世

平成22年3月頃 於：未定(札幌市)

b. 東北地方会学術集会

第38回 会長 大平弘正

平成21年9月6日 於：コラッセ福島(福島市)

第39回 会長 明城光三

平成22年3月14日 於：仙台市情報・産業プラザ(仙台市)

c. 関東甲信越地方会学術集会

第21回 会長 森秀明

平成21年11月7日～8日 於：東京ファッションタウン(TFTホール)(東京都江東区)

d. 中部地方会学術集会

第28回 会長 島本佳寿広

平成21年6月14日 於：名古屋大学医学部保健学科(名古屋市)

第29回 会長 金子周一

平成22年1月31日 於：石川県立音楽堂(金沢市)

e. 関西地方会学術集会

第36回 会長 石蔵文信

平成21年10月3日 於：大阪国際会議場(大阪市)

f. 中国地方会学術集会

第45回 会長 茶山一彰

平成21年9月12日 於：広島県情報プラザ(広島市)

g. 四国地方会学術集会

第19回 会長 久保田敬

平成21年12月19日 於：高知市文化プラザかるぽーと(高知市)

h. 九州地方会学術集会

第19回 会長 山下裕一

平成21年10月5日 於：鹿児島県医療センター(鹿児島市)

IV. 教育セッション

第8回

平成21年5月23日～24日 於：東京国際フォーラム(東京都千代田区)

V. 各種委員会等

1. 企画委員会

a. 本学会正会員増について検討を行う。

b. 本会と関連省官庁との連携を強める。

c. ホームページの充実などを通じて、一般市民向けの広報活動を推進する。

d. その他、理事長より諮問される案件については慎重に審議し、早急に答申するとともに、超音波医学について将来的視野で検討し、委員会独自の提言を行う。

2. 機器及び安全に関する委員会

a. 「超音波の安全性」についての調査、啓蒙活動を行う。

b. 超音波診断機器の画像劣化要因に関する調査、啓蒙活動、及び検討を行う。

c. 超音波診断装置の精度管理手法について検討を行う。

d. 第82回学術集会に於いて横断的シンポジウム「超音波による治療と安全性」を開催する。

e. 超音波診断機器の安全規格に関する最新動向を把握するため、国際電気標準会議(IEC)に委員を派遣する。

f. 「超音波の安全に関する資料」をホームページに掲載する。

3. 編集委員会

a. 和文誌「超音波医学」第36巻Supplement号(学術集会抄録集)、第36巻3号から6号と第37巻1号から2号までの7冊、及び英文誌「Journal of Medical Ultrasonics」Vol.36 No.2からNo.4とVol.37 No.1の4冊、計11冊を発行する。

b. 過去の学会誌(Vol.1 No.1(1974)～Vol.13 No.1(1986))のデジタルデータ化を進める。

4. 用語・診断基準委員会

a. 医用超音波用語関係

- 1) 医用超音波用語集改訂を随時行い、ホームページに反映する。

b. 診断基準関係

- 1) 「超音波による頸動脈病変の標準的評価法」、並びに「Standard Method for Ultrasound Evaluation of Carotid Artery Lesions」を完成し公示する。
- 2) 泌尿器領域に関して「腎限局性病変の超音波診断基準(案)」、「尿路結石の超音波診断基準(案)」、「膀胱疾患の超音波診断基準(案)」、「前立腺疾患の超音波診断基準(案)」、「陰嚢内疾患の超音波診断基準(案)」、「超音波による泌尿器領域の容積計測法(案)」並びに「Criteria for ultrasonic diagnosis of localized renal disease (draft)」、「Criteria for ultrasonic diagnosis of urinary tract stone (draft)」、「Criteria for ultrasonic diagnosis of bladder disease (draft)」、「Criteria for ultrasonic diagnosis of prostate disease (draft)」、「Criteria for ultrasonic diagnosis of intrascrotal disease (draft)」、「Volume measurement in the field of urology (draft)」を完成し公示する。
- 3) 「CRT適応選択のための心エコー諸指標の解説」作成に向けて検討する。
- 4) 「肝腫瘍の超音波診断基準」改訂に向けて検討する。
- 5) 「肺癌診断基準」改訂に向けて検討する。
- 6) 「消化管診断基準」作成に向けて検討する。
- 7) 「双胎妊娠胎児の標準値」作成に向けて検討する。
- 8) 「胎児静脈系血流の標準値」作成に向けて検討する。
- 9) 「乳腺疾患超音波診断のためのガイドライン：腫瘍非形成性病変」作成に向けて検討する。
- 10) 「結節性甲状腺疾患診断基準」作成に向けて検討する。
- 11) 「眼科領域の超音波画像表示と計測のための検査指針」改訂に向けて検討する。
- 12) 「肩関節断裂診断基準」作成に向けて検討する。

5. 保険委員会

- a. 外保連、及び内保連へ診療報酬点数改定、新規適用要望書を提出する。
- b. 他学会及び関連学会との情報交換を行う。
- c. 各種超音波検査の年間検査件数、及び検査に携わる医師や技師の現状をアンケート調査し、今後の内保連や外保連への要望の参考にする。

6. 国際交流委員会

a. 社団法人日本超音波医学会奨学制度(JSUM Fellowship)関係

「社団法人日本超音波医学会奨学制度実施要領」に準拠して、下記の活動を行う。

- 1) 2009年度JSUM Fellowship研修生の研修を実施する。
 - 2) 2010年度JSUM Fellowship研修生を公募し、選考する。
 - 3) 今後の国際貢献のあり方について検討する。
- ##### b. アジア超音波医学学術連合(AFSUMB)・世界超音波医学学術連合大会(WFUMB)関係
- 1) 2009年にシドニー(2009年8月30日～9月3日)にて開催される第12回WFUMB大会に学術、広報などの面で協力する。
 - 2) 2010年にニューデリーにて開催されるAFSUMB大会に学術、広報などの面で協力する。
 - 3) WFUMBとAFSUMBのEducation Programに協力する。

7. 教育委員会

- a. 第82回学術集会会期中の平成21年5月22日(金)から24日(日)に東京国際フォーラム(東京都)を会場として、第8回教育セッションを開催する。
- b. 第83回学術集会会期中に京都府にて開催予定の「第9回教育セッション」を企画し、開催に向けての準備を行う。
- c. 「血管」、「消化器」、及び「乳腺」についての「超音波診断講習会」を平成21年度中に開催する。
- d. 平成22年度に開催予定の「超音波診断講習会」を企画し、開催に向けての準備を行う。
- e. 「超音波専門医研修カリキュラム」の英語版完成に向けての検討を行う。

8. 超音波専門医制度委員会

- a. 平成21年度研修施設の指定を行った上で認定証を交付し、併せて学会誌に公示する。
- b. 第19回超音波専門医認定試験を実施し、合格者の登録を行った上で認定証を交付し、併せて学会誌に公示する。
- c. 第15回超音波専門医資格更新を実施し、更新者の登録を行った上で認定証を交付し、併せて学会誌に公示する。
- d. 平成21年度超音波指導医の新規自薦申請者の公募を行い、新規及び再委嘱候補者の審査を行い、委嘱を行った上で委嘱状を交付し、併せて学会誌に公示する。
- e. 第20回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織し、準備を進める。
- f. 第16回超音波専門医更新に関する会告を公示する。
- g. 平成22年度研修施設の指定に向けての審査を行う。
- h. 超音波専門医制度の改革審議結果を受けて、ホームページの充実化を図る。
- i. 超音波関連学会・研究会に関して、超音波検査士制度委員会との整合性についての審議を行う。
- j. 超音波専門医研修施設の認定基準の見直しについての審議を行う。
- k. 本制度の改革・整備に向けての審議を行う。
- l. 本制度に関する会員への啓蒙を積極的に行う。
- m. 本制度に関する他学会との連携を深める。
- n. 社団法人日本専門医制評価・認定機構総会に出席する。

9. 顕彰委員会

- a. 第11回特別学会賞の選考を行う。
- b. 第8回松尾賞の選考を行う。
- c. 第9回技術賞の選考を行う。
- d. 第23回菊池賞(論文賞)の選考を行う。
- e. 第4回伊東賞(論文賞)の選考を行う。
- f. 第10回奨励賞の選考を行う。

10. 超音波検査士制度委員会

- a. 第25回超音波検査士認定試験を実施する。
- b. 2010年超音波検査士資格更新を実施する。
- c. 超音波検査士制度の育成と増進を図る。
- d. 超音波検査士制度を充実させる。
- e. 資格更新システムのIT化を実施する。

11. 超音波工学フェロー認定審査委員会

- a. 第11回超音波工学フェローの認定審査を行い、適格と判定した者を理事会の議を経て認定し、希望者には認定証を交付する。

- b. 第12回超音波工学フェローの公募を行う。
 - c. 第6回超音波工学フェロー資格更新の公募を行う。
 - d. 資格更新システムのIT化を実施する。
12. 研究開発促進委員会
- a. 平成21年度研究開発班の設置申請についての審査を行い、研究開発班の設置を認可する。
 - b. 平成21年度研究会の設置申請についての審査を行い、研究会の設置を認可する。
 - c. 平成22年度研究開発班の設置申請の公募を行い、応募書類を審査する。
 - d. 平成22年度研究会の設置申請の公募を行い、応募書類を審査する。
 - e. 第82回学術集會会期中に「新技術開発セッション」を実施する。
 - f. 第82回学術集會会期中に「研究成果発表会」を実施する。
13. 倫理委員会
- a. 倫理委員会委員として外部委員の選任を行う。
 - b. 超音波医学の研究、診療、教育情報、安全に関する倫理的諸問題について審議、及び検討を行う。
14. 学術集會委員会
- 学術集會の事後評価を行い、一般会員の視点からより良い在り方を検討する。
15. 新公益法人への移行検討委員会
- 公益法人制度改革は、多くの医学会の懸案事項であるため、現在日本医学会臨床部会で総合的指針を作成中であり、それを基に新公益法人への移行のメリット、デメリットを慎重に検討し、併せて先行する他学会の状況も踏まえて今後の対応を検討する。
16. 広報委員会
- a. 本会情報を学会誌及びインターネット等により広報する。
 - b. 学会ホームページの作成、管理及び運用を行う。
 - c. その他広報に関する事項について検討する。
17. 会員資格審査関係
- 会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記認定の審査を行う。
- 1) 入会希望者及び退会希望者の審査
 - 2) 除名該当者の審査
 - 3) 会員種別変更希望者の審査
 - 4) 休会希望者の審査
18. 学術集會関係
- 第85回学術集會会長候補者について、役員及び代議員宛に自薦、並びに他薦依頼を行い、それに基づき候補者を理事会で決定する。
19. 地方会関係
- a. 地方会に関する事業の発展、充実及び円滑な運営の促進
 - 1) 各地方会の事業が円滑に運営されるよう指導及び助言を行う。
 - 2) 地方会交付金の算定を行い、交付する。
 - 3) 地方会学術集會に関して助言を行う。
 - 4) 地方会講習会に関して助言を行う。
 - b. 地方会運営委員長会議の開催し、各地方会相互の連絡を緊密に行う。
 - c. 地方会を通じての正会員数増加の推進を行う。
 - d. 各地方会学術集會演題受付Webシステムを利用し、抄録のWeb掲載を行う。
20. 規約関係
- 理事長の諮問を受けて、学会運営に関する諸規約の制定、及び改正について逐次審議し、作案する。
- VI. 日本医学会関係
- 1. 第77回日本医学会定例評議員会に参加する。
 - 2. 日本医学会シンポジウムに協力する。

(資料 5)

収支予算書(案)

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位:円)

科目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	360,000	360,000	0	
会費収入	148,662,500	148,142,000	520,500	
正会員会費	(103,285,000)	(103,675,000)	(△ 390,000)	@13,000円×7,945人 10月現在
準会員会費	(42,694,000)	(41,780,000)	(914,000)	@10,000×1,139,@7,000×4,472
学生会員会費	(3,500)	(7,000)	(△ 3,500)	@3,500円×1人
賛助会員会費	(2,680,000)	(2,680,000)	(0)	@40,000円×67口
入会金収入	1,123,000	1,098,000	25,000	@2,000円,@1,500円,1,000円
広告収入	2,320,000	2,320,000	0	
学術集会収入	75,000,000	68,300,000	6,700,000	
参加費収入	(29,070,000)	(20,950,000)	(8,120,000)	
学術機器展示収入ほか	(45,930,000)	(47,350,000)	(△ 1,420,000)	
地方会関係収入	47,210,000	41,790,000	5,420,000	
学会誌別刷収入	330,000	350,000	△ 20,000	和文誌6回
WFUMB会誌収入	1,800,000	1,800,000	0	@10,000円×180人
各種委員会収入	0	0	0	超音波フォーラム
企画委員会収入	(0)	(0)	(0)	第82回学術集會中に開催
専門医制度関係収入	5,104,000	6,907,000	△ 1,803,000	
認定試験	(2,280,000)	(2,280,000)	(0)	@20,000円×(60人+54人)
更新認定料	(1,609,000)	(3,412,000)	(△ 1,803,000)	@10,000円×169人×0.95
資料頒布料	(1,215,000)	(1,215,000)	(0)	@6千円×150冊,@3千円×105冊
工学フェロー制度関係収入	371,000	31,000	340,000	
認定審査	(25,000)	(25,000)	(0)	
更新認定料	(346,000)	(6,000)	(340,000)	
検査士制度関係収入	53,030,000	54,420,000	△ 1,390,000	
認定試験	(46,000,000)	(48,000,000)	(△ 2,000,000)	@2万円×1,900人,5千円×1,600人
更新認定料	(6,830,000)	(6,270,000)	(560,000)	@5千円×1,366人
資料頒布料	(200,000)	(150,000)	(50,000)	@1,000円×200冊
教育関係収入	11,210,000	10,360,000	850,000	
教育セッション	(2,000,000)	(1,600,000)	(400,000)	
資料頒布料	(10,000)	(10,000)	(0)	
講習会収入	(9,200,000)	(8,750,000)	(450,000)	乳腺、消化器、循環器
雑収入	2,000,000	2,000,000	0	
受取利息	700,000	700,000	0	
事業活動収入計	349,220,500	338,578,000	10,642,500	
2. 事業活動支出				
事業費				
学会誌経費	53,830,000	55,503,000	△ 1,673,000	
出版費	(37,500,000)	(38,400,000)	(△ 900,000)	
発送経費	(10,900,000)	(11,607,000)	(△ 707,000)	
編集委員会費	(3,330,000)	(3,296,000)	(34,000)	
英文校正費	(1,800,000)	(1,950,000)	(△ 150,000)	
査読通信費	(300,000)	(250,000)	(50,000)	
国際交流関係費	6,464,500	6,831,000	△ 366,500	
奨学金	(3,600,000)	(3,600,000)	(0)	@20万円×6ヶ月×3人
委員会費	(600,000)	(480,000)	(120,000)	
AFSUMB分担金	(2,264,500)	(2,751,000)	(△ 486,500)	3\$×95円×7,945人
WFUMB機関誌代	1,950,000	2,084,000	△ 134,000	機関誌115\$×130冊14,950\$
学術集会関係費	75,000,000	69,003,000	5,997,000	
学術集会経費	(75,000,000)	(68,300,000)	(6,700,000)	
学術集会会議費	(0)	(703,000)	(△ 703,000)	
学術集会補助金	2,000,000	2,000,000	0	

科目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
地方会関係費	65,859,000	60,946,000	4,913,000	
地方会学術集会経費	(47,210,000)	(41,790,000)	(5,420,000)	
地方会交付金	(17,449,000)	(17,399,000)	(50,000)	前年度繰越金の再交付を含む
運営委員長会議費	(1,200,000)	(1,757,000)	(△ 557,000)	webオンラインシステム維持費含む
各種委員会費	9,230,000	10,093,000	△ 863,000	
用語・診断基準委員会費	(3,600,000)	(4,730,000)	(△ 1,130,000)	
企画委員会費	(1,100,000)	(460,000)	(640,000)	
保険委員会費	(450,000)	(484,000)	(△ 34,000)	
機器および安全に関する委員会	(2,000,000)	(2,435,000)	(△ 435,000)	
倫理委員会費	(40,000)	(40,000)	(0)	
規約関係	(40,000)	(40,000)	(0)	
広報委員会費	(600,000)	(644,000)	(△ 44,000)	旧インターネット関係費
学術集会委員会費	(1,400,000)	(930,000)	(470,000)	
検査業務安全管理ワーキング	(0)	(330,000)	(△ 330,000)	
専門医制度委員会費	6,150,000	5,629,000	521,000	
専門医認定関係費	(4,050,000)	(3,927,000)	(123,000)	
専門医制度委員会費	(2,100,000)	(1,702,000)	(398,000)	年5回
頒布資料印刷費	(0)	(0)	(0)	
工学フェロー制度委員会費	522,000	1,393,000	△ 871,000	
工学フェロー認定費	(2,000)	(3,000)	(△ 1,000)	
工学フェロー制度委員会費	(520,000)	(1,390,000)	(△ 870,000)	
検査士制度委員会費	17,056,000	18,281,000	△ 1,225,000	
検査士認定関係費	(16,100,000)	(15,043,000)	(1,057,000)	試験会場(東京・大阪)
検査士制度委員会費	(831,000)	(820,000)	(11,000)	
頒布資料印刷費	(125,000)	(2,418,000)	(△ 2,293,000)	
教育委員会費	10,180,000	12,010,000	△ 1,830,000	
教育セッション費	(2,850,000)	(2,060,000)	(790,000)	第82回学術集会開催中に開催
教育委員会費	(680,000)	(757,000)	(△ 77,000)	
生涯教育費	(0)	(700,000)	(△ 700,000)	
講習会経費	(6,650,000)	(8,493,000)	(△ 1,843,000)	
顕彰委員会関係費	6,770,000	6,770,000	0	
各種賞金	(6,500,000)	(6,500,000)	(0)	
顕彰委員会費	(270,000)	(270,000)	(0)	
研究開発促進委員会費	14,100,000	15,000,000	△ 900,000	
研究開発班設置費	(12,000,000)	(12,500,000)	(△ 500,000)	
研究会設置費	(1,600,000)	(2,000,000)	(△ 400,000)	
研究開発促進委員会費	(500,000)	(500,000)	(0)	
事業費計	269,111,500	265,543,000	3,568,500	
管理費				
人件費	43,552,000	43,121,000	431,000	
会計顧問料	840,000	525,000	315,000	税理士分加算
福利厚生費	700,000	700,000	0	
法定福利費	4,800,000	4,800,000	0	
職員交通費	1,600,000	1,540,000	60,000	
事務所賃借料	24,789,000	24,789,000	0	
事務用機器賃借料	710,000	710,000	0	
備品費	400,000	400,000	0	
文具消耗品費	740,000	800,000	△ 60,000	
光熱水料	1,300,000	900,000	400,000	
事務OA化費	300,000	500,000	△ 200,000	
会議費	3,581,000	2,700,000	881,000	
印刷費	1,000,000	1,000,000	0	
通信費	3,400,000	3,400,000	0	
公租公課	1,500,000	1,500,000	0	
雑費	797,000	500,000	297,000	
払込手数料	1,700,000	1,700,000	0	
選挙関係費	2,000,000	50,000	1,950,000	

科目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
退職金	0	0	0	
管理費計	93,709,000	89,635,000	4,074,000	
事務所移転費用	0	0	0	
事業活動支出計	362,820,500	355,178,000	7,642,500	
事業活動収支差額	△ 13,600,000	△ 16,600,000	3,000,000	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
敷金・保証金戻り収入	0	0	0	
敷金戻り収入	(0)	(0)	(0)	
特定預金取崩収入	15,000,000	18,000,000	△ 3,000,000	
事務所整備基金取崩収入	(0)	(0)	(0)	
学術奨励基金取崩収入	(8,000,000)	(11,000,000)	(△ 3,000,000)	
松尾賞基金取崩収入	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)	
研究開発班設置基金取崩収入	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)	
伊東賞基金取崩収入	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)	
投資活動収入計	15,000,000	18,000,000	△ 3,000,000	
2. 投資活動支出				
敷金・保証金支出	0	0	0	
敷金支出	(0)	(0)	(0)	
特定預金繰入支出	900,000	900,000	0	
退職給付引当預金支出	(900,000)	(900,000)	(0)	
研究開発班設置基金繰入支出	(0)	(0)	(0)	
投資活動支出計	900,000	900,000	0	
投資活動収支差額	14,100,000	17,100,000	△ 3,000,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入			0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
	500,000	500,000	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

(資料 6)

除 名 者
(平成21年3月31日現在該当者)

240名

内訳 正 会 員 168名

準 会 員 72名

学生会員 0名

賛助会員 0社

(資料7)

功 勞 会 員 推 薦

本学会功勞会員規則第4条に照らし、以下の方を推薦する。

1. マズダ・ウ・ノブ・キウ
増澤信義 氏
2. カタクラキ・キウ
片倉景義 氏
3. イ・リ・エ・キ・キ・ス・サ
入江喬介 氏
4. カントウ・チカ
神戸 忠 氏
5. ミヤタ・キ・フ
宮武邦夫 氏
6. ナカムラ・キ・ヒコ
中村一彦 氏
7. ハラ・ヒコ
原 量宏 氏
8. コバ・キウ・ミナト
小林充尚 氏
9. ナカジマ・マ・ヒト
中島真人 氏

第11回特別学会賞

横井 浩
(元 日生病院超音波検査部)

第8回松尾賞

該当者なし

第9回技術賞

微細石灰化集出のための画像処理技術 (Micro Pure)
岡村陽子, 神山直久, 掛江明弘
(東芝メディカルシステムズ株式会社超音波開発部)

論文賞

第23回菊池賞

Contributions of mechanical and sonochemical effects to cell membrane damage induced by single-shot pulsed ultrasound with adjacent microbubblesE35-1
Kengo OKADA¹, Nobuki KUDO¹, Takashi KONDO², Katsuyuki YAMAMOTO¹
(¹Graduate School of Information Science and Technology, Hokkaido University, Hokkaido, Japan,
²Department of Radiological Sciences, Graduate School of Medicine and Pharmaceutical Sciences, University of Toyama, Toyama, Japan)

第4回伊東賞

Preliminary study of contrast-enhanced harmonic endosonography with second-generation contrast agentsE35-1
Masayuki KITANO¹, Masatoshi KUDO¹, Hiroki SAKAMOTO¹, Tatsuya NAKATANI¹, Kiyoshi MAEKAWA²,
Nobuyuki MIZUGUCHI³, Yasuhiro ITO⁴, Motohiro MIKI⁴, Uwe MATSUI⁵, Tammo von SCHRENCK⁶
(¹Division of Gastroenterology and Hepatology, Department of Internal Medicine, ²Section of Abdominal
Ultrasound, ³Life Science Research Institute, Kinki University School of Medicine, Osaka, Japan,
⁴Research and Development Department, Aloka Co. Ltd, Tokyo, Japan, ⁵Department of Medicine, Bethesda
General Hospital BergeDorf, Hamburg, Germany)

Sequential changes in rat femoral artery blood flow and tissue degeneration after exposure to high-intensity focused ultrasoundE35-4
Tetsuya ISHIKAWA¹, Takashi OKAI¹, Kazuaki SASAKI², Shin-ichiro UMEMURA³, Nozomi MIYAZAKI¹, Miki KUSHIMA⁴,
Hiroko AOKI¹, Mitsuyoshi ICHIHARA¹, Kiyotake ICHIZUKA¹
(¹Department of Obstetrics and Gynecology, ²Department of Hospital Pathology, Showa University School of Medicine, Tokyo, Japan, ³Department of Veterinary Medicine, Tokyo University of Agriculture and Technology, Tokyo, Japan, ⁴Department of Electrical and Communication Engineering, Tohoku University, Miyagi, Japan)

【顕彰委員会】

委員長 松崎 益徳

副委員長 椎名 毅

委員

(基礎) 秋山 いわき 遠藤 信行
(体表) 谷口 信行 遠藤 登喜子
(循環器) 竹中 克 千田 彰一
(消化器) 渡辺 五朗 斎藤 明子
(泌尿器) 千葉 裕 棚橋 善克
(産婦人科) 上妻 志郎

秋本 伸

以上14名